

2学期の始まりです

8月から9月にかけて、尾倉中学校の校庭にはハイビス

カスやポーチュラカが美しく咲いています。今年の夏は雨の日が多く、例年のような猛暑は感じられませんでした。9月に入ってようやく晴れの日が続いています。短い夏の間、中学校の畑には校務員の大庭先生が植えたナスやキュウリ、トマト、スイカなどの夏野菜が少しずつですが実って、夏らしさを演出しました。夏休みの間、生徒は部活や宿題の勉強を頑張りました。3年生は体育大会の応援練習やダンスの練習に早くから取り組んでいました。もうすぐ体育大会です。



畑の夏野菜が夏を演出

朝のボランティア清掃

9月になり生徒は元気の登校しています。毎週火曜日の朝は、ボランティア清掃の日です。美化委員会を中心に生徒が学校周辺の歩道を清掃しています。生徒が掃除をとてよくするため、2学期も学校周辺や学校内が美しく保たれています。一人一人の「美しい学校が好き」という気持ちが大切ですね。これからも清掃を続けていきたいと思います。



美化委員会の朝清掃

3年生、いちはやく体育大会の練習

夏休み中に3年生は、9月の体育大会に向けて、応援の練習をしました。昨年のビデオ映像を見たり、太鼓のリズムに合わせたりしながら応援の動きを研究しました。9月に1、2年生の動きと合わせて、仕上げをしています。9月になって本格的に練習が始まりました。生徒は集中して練習しているためか、覚えが早く、仕上がりに向けて練習が進んでいます。本番が楽しみですね。



応援の動きを研究する3年生



ダンスの練習をする女子 組体操は男子

夏の教室

夏休みの後半、8月18日(月)から22日(金)に夏の教室が開かれました。

生徒は、宿題の答え合わせをしたり、1学期の復習をしたりしていました。この時期に復習をしっかりしておけば、2学期の授業がよくわかります。学校が始まっても、予習、復習は大切です。しっかりやりましょう。



夏の教室の様子 みんな集中しています



防災の日のシェイクアウト訓練

防災の日の9月1日(月)10時30分、北九州市総合防災訓練が全市をあげて行われ、市内の全小中学校が参加しました。尾倉中学校では「まず低く、頭を守り、動かない」という動作の訓練(シェイクアウト訓練)を行いました。地震の警報と放送に沿って生徒は頭を低くして机の下に入りました。



机の下で動かない

平和について考える授業

7月15日(火)に佐藤義則先生が今年も全校生徒を対象に平和授業をしました。昨年の沖縄戦の「慰霊の日」追悼式で与那国島の小学校1年生、安里有生くんが書いた詩『へいわってすてきだね』を中心に、憲法や集団的自衛権などの話と合わせて、平和の大切さについて熱く語りました。

以下は生徒の感想です。

1年 大竹さん

今日、佐藤先生の平和に関する授業を受けて私がいちばん印象に残っているのは小学校1年生の6歳の安里有生君が書いた詩です。まだ小学校1年の6歳の男の子が書いたとは思えないような詩でした。戦争のことについて怖かったことや平和の良さについて自分がこうなってほしいと思ったことが書かれていました。この小学校1年生の幼い男の子が平和についてよく考えて書いた詩はとても気持ちが伝わってきました。今、私たちは平和な環境で暮らしています。ご飯もお腹いっぱい食べられるし毎日のように学校へ行って授業も受けられるし、毎日毎日、眠れないような空襲の恐ろしさも味わいません。そのことを考えるとやっぱり、今は平和なんだと思うしこの平和な環境で生まれてくれたことがよく思っています。この平和に関する授業を受けて70年くらい続いている平和を絶対にこわしたくないと思いました。これからも私たちがひとりじゃなく、みんなで平和について、もっと大切に考えていきたいと思いました。今日はこの話が聞いてよかったです。



1年生 山田さん

私は今日の話に出てきた安里有生君が書いた「平和ってすてきだね」の詩がいちばん心に残っています。日本のいちばん西にある与那国島の小学校1年生が書いた詩でいいなと思いました。私は聞いていないけれど昨年話した特攻隊の話少し聞いて写真も見ました。今回は戦争中の話ではなく平和を考える授業でした。日頃は自分だけで自分だけで平和について考えないけれど、今日、話を聞いて考えると自分が生活するひとつひとつが平和だからこそできることだなと思いました。今も平和ではなく戦争中だったら感想を書くこともものんびりもしていないと思います。もうひとつ話に出てきた憲法と集団的自衛権の話は少し難しかったです。でも2つの国が攻撃をしい、相手も仲間を作り2つの国がどんどん仲間を増やしていくと世界中に戦争が始まるんじゃないかなと思いました。今日、話を聞いて思ったことは、いつもいつも平和のことを考えることはできないけれど平和のことを考える時は必ず要るなと思いました。1年に1回は平和のことを考えようと思いました。

1年生 大友くん

僕は今まで、いろいろな平和に関する授業を受けてきたけど、今回の話を聞いて改めて平和な時に生まれてきてよかったなと思いました。戦争はたくさんの人が命を落としてしまうからいいことなどありません。最近は集団的自衛権という言葉が出てきたけど僕にはどっちが正しいのかわかりませんでした。とても難しい問題だと思いました。僕は戦争など起きてほしくないです。「平和の詩」のように、今、僕ができることをしようと思いました。これからは戦争や争いごとなどが二度と起きないようにしてほしいです。そして、これからは永遠に平和な日々が続いてほしいです。そして、みんな笑顔で生活していきたいです。

1年生 竹浪さん

平和に関する授業を受けて私は本当に平和な時代に生まれてきてよかったなと思いました。安里有生君の詩はとても感動する詩だと思いました。私はまた安里有生君が言っていたように平和はとてもすきだと思いました。私も戦争の時代のことを、もっと詳しく調べてみたいです。また、戦争の時代がもどってこないように日本はほかの国とも仲良くしてほしいです。そして戦争などという言葉やなく、平和という言葉や世界中に広げてほしいと思います。今でも戦争をしている国は戦争をやめて世界中の人がみんな仲のよい世界にしてほしいと思いました。

1年生 森さん

私は今日の平和に関する授業を受けてみて今の私たちの暮らしはすごく平和で楽しいんだなと改めて思いました。今、他国の戦争を協力するかしらないかで議論されていると聞いて私は絶対に戦争はほしくないと思います。せっかく憲法第9条があって、70年間平和な暮らしが続いているのに戦争をしたら、すごくきつい暮らしになることは目に見えているので戦争は絶対にほしくないと思います。私は安里有生君の詩を実際に読んで聞いてみて、まずはじめに思ったことは今の私たちの暮らしがどれだけ平和で安全なんだらうということです。1年生であれだけ素直な詩を書いたと聞いて本当にすごいなと思ったし、戦争をしている時の苦しさ、戦争をしていない時の楽しさなどがこの詩を聞いてわかりました。改めて平和の大切さを学んだし、これからの日本はどうなっていくのだからという興味も今日の話聞いて考えることができました。私も安里有生君のように、私なりにできることを「平和」のためにして行こうと思います。

2年生 石田くん

僕は集団的自衛権に賛成の部分と反対の部分があります。賛成の理由は日本が他国から攻撃されればアメリカが出てくるので、逆の場合は日本が出るのが筋かなと思うからです。でもやっぱり反対の方が強いです。賛成すれば70年間守り続けた憲法に逆らうことになるし、これは聞いた話だけけど戦争になれば赤紙が来て徴兵されると聞いたことがあるので自分が兵士になり戦争に行くのは嫌だし、昨年の平和授業で習った特攻兵になつたりするのも嫌だし戦争により命を落としてしまうのも嫌だからやっぱり戦争にはあまり賛成はできません。今の時点ではどうすれば戦争を避けられるか自分たちにできることはあるかなど正直何もわかりません。でも日本国憲法前文に書いているように、これから先何十年、何百年と永久に恒久な平和が続いていけば平和な世の中になっていくと思います。

2年生 川口さん

私はこの平和についての授業を受けて初めていろいろなことを知りました。たとえば小学1年生の安里有生君が作った「平和ってすきだね」の詩を読んでいるビデオを見て涙を流している人もいたくらい当時、とてもたいへんだったことが改めてわかりました。そして、この安里有生君が「平和ってすきだね」という本もあり、とても「平和」の思いが強くてすきだねと思いました。いつもこれが当たり前と思っていることも昔は当たり前じゃなかったし、例えば戦争中とかはお腹いっぱい食べられない人もたくさんいたけど、今はお腹いっぱい食べられる。これも当たり前と思っていたけど、この平和授業を通して今、自分にできることをできる限りしたいし行動に移して頑張ろうと思いました。とても「ため」になりました。

2年生 松森くん

昨年は知覧の特別攻撃部隊の話聞いて戦争の恐ろしさを改めて知ることができました。今日の平和授業では「平和ってすきだね」という安里有生君が自作した詩についての話だった。その詩についての話を聞いてみて、今、こうして平和な日々を送れているのは戦争で国のために戦ってきた人たちやいろいろな人たちがいたから今の平和があると改めて実感することができました。また安里有生君の詩にのってたいように平和がそのまま続くといいなという言葉聞いて平和がこれからはずっと続くようにするためには、これから自分たちがそのためにできることを見つけて頑張っていけないといけないということがわかりました。日本では70年間戦争がなくて平和だったのは日本の憲法のおかげだと思う。でも、世界にはいろいろな国同士が戦争をしているところもある。これから日本の平和が続くには自分たちが頑張っていくしかないし平和授業をしてわかりました。

2年生 原田さん

私は平和っていったら「戦争がなくなる」とか「みんなが幸せになる」としか考えていませんでした。でも安里君の詩を聞いて「平和って当たり前前のが平和なんだな」と思いました。私は国語の授業でも「世界の子どもの現状」について調べました。調べて「日本って、やはり平和なんだな」「食べたいものが食べられることは幸せなんだな」と改めて実感させられました。私たちが今、平和でいられるのも憲法で決められたことを守ってきたからなんだなと思いました。今、テレビなどでは集団的自衛権を繰り返しよく聞きます。今日、聞いて初めて集団的自衛権の意味がわかりました。私は集団的自衛権には反対です。戦後70年間も戦争放棄、武器の放棄してきたのに、それをしてきた意味がなくなるからです。また、もしも集団的自衛権が可決されたとして日本が同盟を結んでいる国が他国に攻撃されたらします。すると兵隊が必要になりますよね。私の父や私の友達が行かないといけなくなります。私はこの授業でいろいろなことを考えさせられました。「平和って何？」私も考えてみました。「みんなが笑顔」「みんなが幸せ」「ごはんがお腹いっぱい食べられる」など私たちの身近にはこんなにたくさんの平和があったんだなと思いました。私も世界の平和を願って、私のできることをひとつひとつしていきたくと思いました。

3年生 堤さん

今日の平和学習で多くのことを学ぶことができました。有生君の「平和ってすきだね」という詩に心を打たれました。今の時代に生まれてこれた私たちはとても幸せ者だなと思いました。平和学習をするたびに戦争は二度としてはいけないと思います。でもアジアの近くの国々は緊張関係が続いており、私も不安です。しかし、これからの未来、私たちが平和で誰もが安心して暮らせる世の中を作っていくかなければいけないと思いました。当たり前のように毎日を過ごしているけど、それがどれだけありがたいことを忘れてしまっていると思いました。戦争で亡くなった多くの人々の分までしっかり生きて、詩の中にあつたように私たちができることをしようと思います。世界中の人々が何不自由なく暮らせるような日がいつか来たらいいなと思います。今日は平和授業をしていただきありがとうございます。

読書コーナー

校長おすすめの一冊

詩集「絵本」 復刻版

谷川俊太郎 著



日本を代表する現代詩人、谷川俊太郎の初期の写真と詩の組合せの詩集です。「いきる」という詩が心に残ります。